

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	38	学校名	仙台市立台原小学校	校長名	石川 裕美
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

「自分たちが住む地域の自然や環境について知ろう！考えよう！」



2 取組の紹介

校内の花壇づくり

全校児童で、学校内の花壇や鉢の苗植えに取り組みました。春植えと秋植えを、兄弟学級で作業を分担し、協力して行いました。その後は、植えた苗を大切に育て、環境委員会を中心に花や緑の豊かな環境作りに励みました。また、校内の畑を生かし、1・2学年では野菜を育て、3・4学年は学年ごとに植物を育てました。

台原森林公園をフィールドにした学習

台原森林公園は、学区内にある身近で大きな公園です。

1学年では、生活科の授業として、公園の自然に触れ合いました。

3学年では、総合的な学習の時間として、公園にある「ホタルの里」で、ホタルの生態系や環境を守ることの大切さについて学びました。外部講師からお話を聞き、「ホタルの里」の池が



できるまでの住民の方々の取組やホタルの成育等を学習しました。

防災・安全について考える学習

4学年では、震災遺構荒浜小学校を見学し、東日本大震災の被害や防災への備えについて学びました。また、学区の危険な場所や災害時に役立つような施設について、オリエンテーリングを行い、地域の防災マップを考えました。

環境守り隊～わたしたちにできること

5学年では、環境問題について関心を持ち、地球温暖化や水質汚染など、世界で起きている課題を調べました。その課題について、自分のできることを考え、家庭で実践したり、友達と考えを交流したりしました。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

花苗を植える作業や体験を通して、子供たちは自然の美しさを感じながら、学校の植物を大切に、豊かにしていきたいという思いを持ちました。野菜や植物を育てた学年では、世話をすることを通して、植物の成長過程や収穫の喜びを学びました。

台原森林公園での様々な活動では、1年間を通して計画的に活動を実施したことにより、四季の変化や特徴、地域の方々の自然に対する思いについて気付くことができました。

4学年で行った震災遺構の見学では、語り部の方からお話を聞き、被害の実状を見学したことで、地震や津波の脅威について、また今後の備えについて深く学ぶことができました。その経験を基に、自分たちの地域で災害が起こった際を考え、危険な場所や、安全な場所、復興に役立つ場所について地図作りを行い、地域を防災の視点から見ることの大切さを学びました。

5学年で行った総合的な学習の時間の学びを一人一人スライドにまとめ、発表しました。環境問題を身近なものとして捉え、実践したことで、環境問題について考える大切さに気付くことができました。

